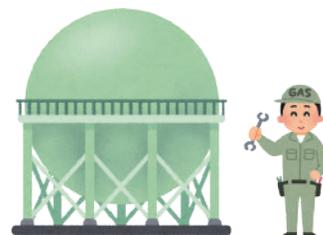


平成28年5月30日/ホテルクレメント徳島

主催：ハナム省人民委員会

ベトナム・ハナム省セミナー TPPで大きく変わる、ベトナムでのビジネスチャンス

「東京ガスのベトナムでの取り組みについて」



はじめに

現在、東京ガスはベトナムのドンヴァン第3工業団地でのガス供給に關与できないかという事で、検討を進めています。

東京ガスは首都圏を中心に1都6県に都市ガスを供給する事業者です。

昔は家庭用



の販売が主

でしたが、今では工業用のガス供給が増加しています。また、ガスの原料LPGが日本に輸入されていますが、パイプラインを使って希望する会社へ供給をしています。

天然ガス事情

ベトナム北部では、2015年より工場向けの天然ガス供給が行われています。産業用の燃料には、油や液化石油ガスなどがありますが、ベトナムは輸入に頼っているため、国際価格の変動に影響を受け易くなっています。それに対して天然ガスについては全て国産で賄われているので、油

や液化石油ガスと比べて低廉な価格になっています。

また、天然ガスの主成分はメタンですが、他の燃料に比べて、二酸化炭素の排出量が少なく、硫酸化物などは排出されません。

安全性においても、天然ガスは不着火時に除去することが容易で、再着火時の爆発事故リスクが低くなっています。配管等からのガス漏れも、液化石油ガスは空気より重いため下部に滞留しますが、天然ガスは空気よりも軽いので、上方へ拡散され、点火源があっても爆発事故になりにくいです。

天然ガスは価格面・環境面・安全面の全てにおいて優位性のある化石燃料と言えます。

ベトナムでのガス供給

東京ガスでは、ドンヴァン第3工業団地での天然ガスの集中配給を検討中で、ベトナムのタイビン省で生産されたガスを

圧縮して工業団地まで輸送します。工業団地内で天然ガスを減圧し、パイプラインを通じて各工場に天然ガスを供給します。天然ガスの利用により、多様なメリットが見込めます。

① 燃料価格

天然ガスは国産で、ベトナムにおける他の液体化石燃料に比べ燃料価格が低い傾向にあります。

② エネルギー管理コスト

気体燃料なのでガスが発生せず、油に比べ簡易なメンテナンスでエネルギー設備を使用できます。他の化石燃料に比べ、環境対策にかけられるコストも少なく済みます。

③ エネルギー効率

ガスを利用した効率的なエネルギー設備の導入が可能となる上に、他燃料使用の場合に比べて長い間、設備のエネルギー効率が高く維持されます。さらに、集中配給方式によるメリットも多く見込まれます。

④ 生産効率

燃料タンクが不要になるので、その分の敷地ス

ペースを他の用途に活用できます。さらに、燃料の購入手配、受入れ立会い、残量管理などの作業が不要になります。

② 安全性と安定性

エネルギー会社が燃料の管理をするため、燃料管理時などの事故リスクが低減します。エネルギー会社が液化石油ガスをバックアップとしつつ、集中的に工業団地全体の燃料を管理するので、燃料切れのリスクも低減します。

最後に

ベトナムのガスグループも工業団地へのガス供給を行っています。利用している企業の声を聞くこと「サービスが日本向けではない」という声が多く、ガスを繋いだら終りというのが現状です。

東京ガスには、今まで日本で培ってきた経験があります。お客様にとつて最適な設備を提案できるので、ぜひともベトナムのビジネスに参入したいと思っています。

(文責：編集部)